

## 海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成20年9月4日  
大分県農林水産研究センター  
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 9月1-4日

## 【海況】

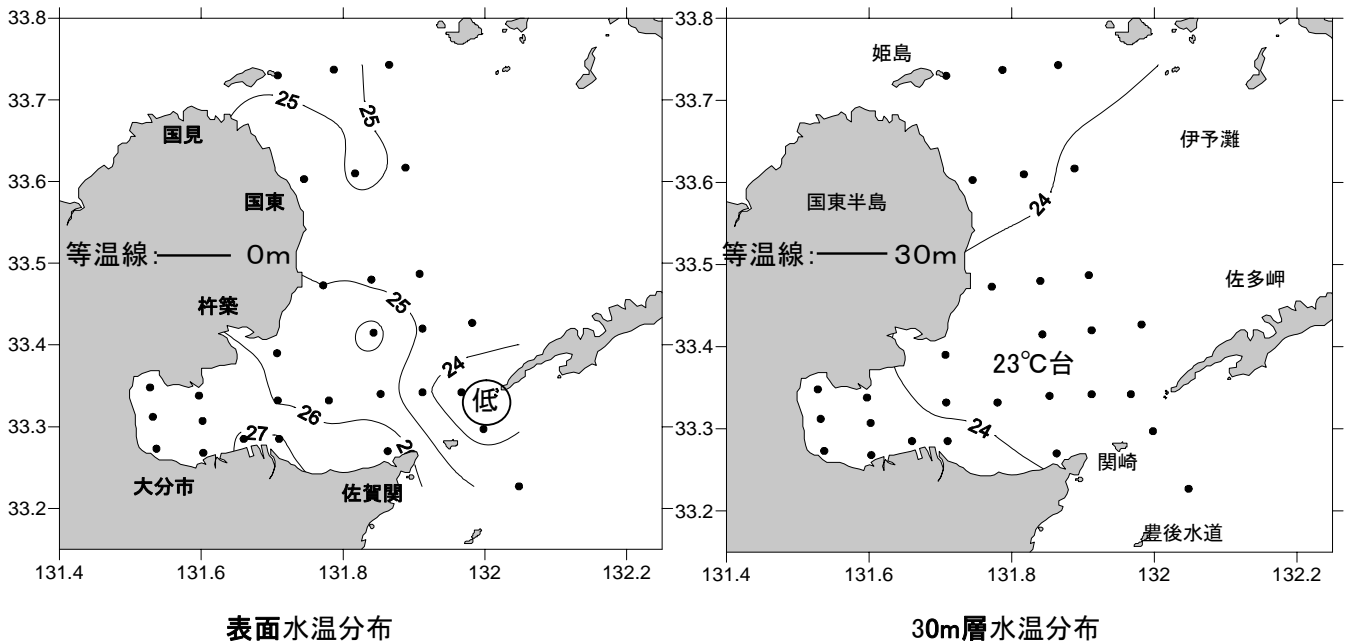
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	26.5	-2.4	-1.0	+0.3
	底層(-30m)	24.3	+1.8	+0.5	+1.0

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	24.9	-1.1	-1.4	-0.1
	底層(-30m)	23.9	+1.5	-0.3	+0.5

(水温分布)



## 「海況概要」

水温は底層で平年よりやや高め。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は23~27°C台を示し、別府湾では前年より1°C低めで、平年並み(+0.3°C)。国東半島沖合では前年より1.4°C低めで、平年並み(-0.1°C)であった。

水深30m層は23~24°C台を示し、別府湾では前年より0.5°C高めで、平年並より1°C高め。国東半島沖合では前年より0.3°C低めで、平年より0.5°C高めであった。

(黒潮情報：漁業情報サービスセンター)

8月27日~9月3日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は28°Cを示し、前年同期より1°C低め。

黒潮は都井岬、足摺岬ともに離岸している模様。

9月2日に豊後水道南部へ黒潮系の暖水が流入した。

## 【魚群分布】

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

s20-9号

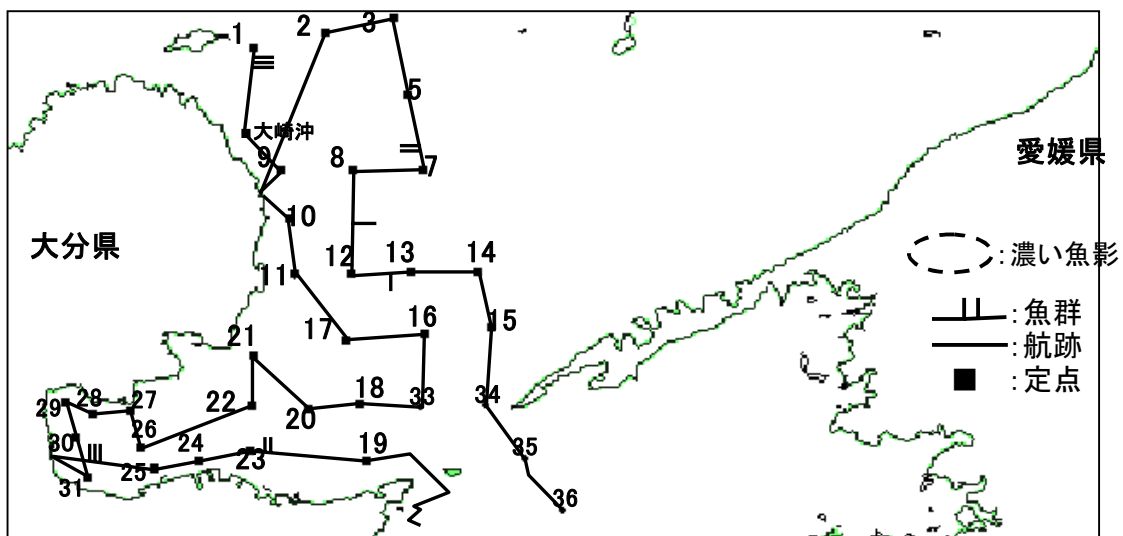
昨年同期の調査時に比べて、魚群の出現数は少なかった。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
9/1	12:55	st. 23	中	2	35-B	淡	27.1	44	4-7
9/1	13:46	st. 31付近	小	3	50	淡	27.1	64	4
9/3	9:09 ~	大崎沖-st.1	中	5	15-40	濃	24.8	58	14
9/4	9:38	st. 5-7	小	2	0-2、40	淡	25.0	53	4-7
9/4	10:32	st. 8-12	中	1	0-20	中	24.9	47	0-7
9/4	11:04	st. 12-13	小	1	0-8	淡	24.7	58	0-7

\* 反応水深のうち、Bは底

\* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)



## 【クラゲ分布】

調査定点上における目視観察では、クラゲ類は確認されなかった。